

総合流域防災事業（満名川）

事業目的

満名川は、沖縄本島北部の本部町に位置し、その源を八重岳と伊豆味の山中に発し、本部町の市街地を西に向かって流下し、東シナ海に注ぐ、流域面積12.14km²、幹線流路延長4.4kmの二級河川である。

本河川整備により、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させることで、沿川住宅や畑地等の浸水被害の防止を目標とする。

事業概要

- 事業主体：沖縄県
- 事業内容：河川改修 L = 2,600m
（河道掘削・拡幅及び護岸等）
- 総事業費：4,415百万円
（うち国費：3,973百万円）
- 事業期間：昭和47年度～令和15年度



平成24年9月 浸水被害

位置図



本部町渡久地



整備状況

総合流域防災事業（報得川）

事業目的

報得川は、沖縄本島南部に位置し、その源を南城市大里稲嶺に発し、南城市、八重瀬町、糸満市をまたぎ南西に向かって流下し、東シナ海に注ぐ、流域面積19.24km²、幹線流路延長10.8kmの二級河川である。

本河川整備により、年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させることで、沿川住宅や畑地等の浸水被害の防止を目標とする。

事業概要

- 事業主体：沖縄県
- 事業内容：河川改修 L = 2,465m
（河道掘削・拡幅及び護岸等）
- 総事業費：2,020百万円
（うち国費：1,818百万円）
- 事業期間：平成26年度～令和15年度



令和6年6月 浸水被害

位置図



八重瀬町東風平



整備状況

安和与那川砂防事業（名護市）

事業目的

平成10年10月の集中豪雨により溪岸が浸食されるとともに、多量の土砂を含む洪水が氾濫し、沿川の集落での床上浸水3件、床下浸水5件や農作物（2.2ha）への多大な被害が発生した。

このため、既設の砂防ダムから下流において流路工を整備し、溪岸崩壊による土砂発生防止、洪水氾濫の防止を行う。

事業概要

- 事業主体：沖縄県
- 事業内容：流路工640m
- 総事業費：2,066百万円
（うち国費：1,859百万円）
- 事業期間：平成18年度～令和12年度



①下流での氾濫状況(H10.10)



②溪流の荒廃状況



饒波川砂防事業（大宜味村）

事業目的

饒波川は蛇行が激しく、河道は多くの急な湾曲部が存在し、地質は黒色の泥質千枚岩を主とする名護層が分布しており、集中豪雨により溪岸が侵食され、土砂が堆積し通水断面を阻害している。

既設の砂防ダムから下流において流路工を整備することにより溪岸浸食等を防止し、集落、耕地、避難場所である公民館、高等学校及び国道を保全する。

事業概要

- 事業主体：沖縄県
- 事業内容：流路工1.46km
- 総事業費：1,234百万円
（うち国費：1,110百万円）
- 事業期間：平成19年度～令和14年度



①



②

